

人形劇団 777777

原作／馬場のぼる（こぐま社刊）

11ぴきのねこ

きみの目の前にやってくる

11ぴきのだいぼうけん！



4人で演じる新しい11ぴきのねこの世界

おなじみ11ぴきのねこの人形劇が、
 今度は新たな舞台で元気いっぱいの大冒険を繰り広げます!!
 4人で演じることから生み出される、
 新しい11ぴきのねこの世界をお楽しみください。

あ〜腹へったなあー

いつもお腹を空かせている
 11ぴきのねこたち。
 小さな魚をじゃんけんして
 分け合いますが、

足りな〜い

大きな魚が
 たべた〜い

そこで

いかだを作って
 大きな魚を探すため湖へ!

しょくん!
 しゅっぱつ!

大きな魚

を捕まえようとするものの
 跳ねたり
 ぶつかってきたり…。

演出のことは

新型コロナ禍、何より“日常”を描く事がどれ程大切かを感じた。マスクやアルコール消毒、ディスタンスの生活がもう3年も続いている。私自身もうマスク生活にも慣れてきたようで、逆にマスクを外すことへの恥ずかしさも生まれている程。しかしやはり、顔を見せ合って肌を触れ合って人と何かをする事を渴望している自分に気づく。“密”の経験が楽しい事、嬉しい事を知っているから。だが今、その“密”の経験を出来ない子どもたち。子どもたちの成長にとって3年という大きさを思う。

人形劇『11ぴきのねこ』では“密”をモチーフのひとつにした。11ぴきのねこたちはいつも11ぴき一緒に“密”になって行動する。劇中では、子どもたちが今なかなか経験出来ない運動会やキャンプやお祭りのイメージを重ね合わせながら創作した。人形劇を観て“密”の楽しさを面白おかしく追体験させたいと思っている。ねこたちを観て「羨ましい」と感じさせたい、とさえ思う。

奥洞 昇

ねこたちは なんとか逃げのびた島で

♪ねんねこさっしゅりま〜せ

と大きな魚が歌うのを
 聞くのです。

さて、
 大きな魚は…